



高校は自分のやりたいことをみつける場所

第1回進路希望調査がでそろいしました。ご家庭でいろいろと話し合っただけで決めたことと思いきや、11月の三者懇談で決定するまでの期間、いろいろと考えていきましよう。進路通信では自分の進路を考えていくうえで必要な情報を提供していきます。

普通科と専門学科とって何？

高校は何のために行くのでしょうか。義務教育は今年で終わるので、中学校卒業とともに社会に出ていってもいいのです。

高校に進学する意味は人それぞれです。面白そうなことをやっていた学校だから行ってみたい、興味のある部活動があるから、専門的に学んでみたい勉強があるから、いろいろです。そこで「自分は高校で何をしたいか」を考える、というのが今回の話です。中学校までは国数社理英とか音楽体技家とかを学びました。同じような学習をするのが「普通科」と言われる学科です。しかしそれだけではないの

が高校というところです。富良野高校を例に説明をしていきます。

富良野高校には、普通科、園芸観光デザイン科、電気情報システム科という三つの学科があります。これらは簡単に言うところ中学校と変わらない勉強をする「普通科」と、農業に必要なことを中心に学ぶ「農業科」と、IT系の将来に向けて学ぶ「工業科」です。※工業科と言ってもいろいろあって、自動車についてとか建築についてとか、学習する内容は様々です。



「大学に進学したいけれど、将来はまだわからない」という人は、普通科を選ぶ人が多いです。一方、高校卒業後に就職することをおる程度決めているという人は、農業科や工業科など自分に必要なことを専門的に学ぶ学科を選ぶと良いです。このように就職に向けた知識や技能を学ぶ学科を「専門学科」と呼びます。専門学科はたくさんあるのでいろいろ調べてみることをおすすめします。

【専門学科の例】

農業	工業	商業
水産	家庭	看護
福祉	体育	理数
外国語	美術	工芸

専門学科で学ぶ内容は、イメージできないと思いますので、7月頃から各高校で「体験入学」という機会を設けてられています。高校からお知らせが届いたらお伝えしますので、興味があればまずは行ってみるとよいでしょう。

あなたは将来、何をやってみたいですか？

こんな感じで、進路通信を不定期で発行していきます。知りたいことがあれば教えてくださいます。通信にして詳しく説明します。

編集後記

いよいよ自らの進む道を本格的に考える一年となりました。お子さまはもちろんです、ご家族の皆様も安心して進路を考えられるよう進路情報をお伝えしていきます。ご不明な点がありましたらお気軽にご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。裏面の記事もご覧ください。